

2025年は戦後80年である。現在、核兵器が実際に使用される懸念がかつてないほど高まっている一方、〈原爆〉の記憶と継承はますます困難となりつつある。こうした中、戦後日本社会における〈原爆〉の記憶と継承をめぐるこれまでどのようなことが生じてきたのか、現在何が起こっているのか、〈被爆〉の記憶を継承することがいかに困難／可能となっているのか、そもそも〈被爆〉をめぐる継承すべき記憶とはいったい何であるのか。本シンポジウムではこうした問いを複眼的に検討する。

2025年3月8日(土) 13:00 ~ 16:30

司会

天田城介 (中央大学文学部)

報告者

根本雅也 (一橋大学大学院社会学研究科)

直野章子 (京都大学人文科学研究所)

深谷直弘 (長崎県立大学地域創造学部)

討論者

野上元 (早稲田大学教育・総合科学学術院)

朴沙羅 (ヘルシンキ大学文学部)

申し込み用フォーム



社会学系コンソーシアム2024年度シンポジウム

主催：社会学系コンソーシアム、日本学会議社会学委員会

〈原爆〉をめぐる記憶と継承